

2013年度の連邦政府による大学に対する科学工学費拠出、前年度比6%減（6月30日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）傘下の米国科学工学統計センター（National Center for Science and Engineering Statistics : NCSES）は6月30日、連邦政府による大学に対する科学工学費拠出に関する報告書「2013年度の連邦政府による大学に対する科学工学費拠出は前年度比6%減（Federal Science and Engineering Obligations to Universities and Colleges Drop by 6% in FY 2013）」を発表した。本報告書によると、連邦政府は、2013年度には科学工学学術機関995組織に対して290億ドルを拠出しており、これは1,073組織に対して310億ドルを拠出した前年度から6%減となることが明らかにされた。政府による科学工学費拠出は、①研究開発、②研究開発施設、③科学工学指導のための施設及び備品、④フェローシップ・研修制度・研修助成、⑤科学工学に対する全般的支援、⑥その他の科学工学活動、の6分野に分類することができ、このうち、過去3年間は、連邦政府による科学工学費拠出の89%は研究開発に割り当てられたという。2013年度に科学工学費を拠出した主要な連邦省庁は、厚生省（Department of Health and Human Services、58%）、NSF（17%）、国防総省（Department of Defense、12%）、エネルギー省（Department of Energy）、農務省（Department of Agriculture）、米航空宇宙局（National Aeronautics and Space Administration : NASA）などで、この中ではエネルギー省による拠出額が前年度よりも増加した。なお、連邦省庁から最も多額を受給した大学はジョンズホプキンス大学（Johns Hopkins University、メリーランド州）で、受給額は15億ドルであった。

なお、本報告書は、<<http://www.nsf.gov/statistics/2015/nsf15325/>>から閲覧可能。

National Science Foundation, Federal funding for science and engineering at universities down 6 percent

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=135570&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click